

農業委員会委員の応募者の情報 ※経歴や応募・推薦理由は、提出書類（推薦書・申込書）を要約して掲載しています。

令和8年7月31日 時点

番号	推薦・応募の別	候補者							推薦者							農地利用最適化推進委員への応募の有無	
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者の該当・非該当	個人の場合		団体の場合					応募・推薦理由
										推薦者名	年齢	代表者氏名	構成員数	構成員たる資格	事業内容		
1	団体推薦	中山雅博	農業	76	男	大学卒業後、株式会社に勤務、平成20年～農業従事、平成29年～農協の総代、平成30年～中水道利用組合理事、令和5年12月～春日部市農業委員	従事年数	18年	非該当			内牧2区自治会連合会地区長折原紳浩	500世帯	自治会会員	自治会活動全般	会社退職後は農業に専念し、作り方を工夫したり等、熱心に農業に取り組んできている。南彩農業協同組合の総代、黒沼中水道利用組合の理事として、地域の農業に力を尽くしている。また、農業委員として令和5年12月から活動しており、その経験を生かした活躍が期待できる。	無
					主な作付作物	水稻											
					耕作農地面積	142アール											
2	自薦応募	森本恒平	経営コンサルタント	45	男	大学卒業後、個人事業主として開業、令和2年～(特非)地域活性化センター理事、株式会社設立代表取締役(一社)埼玉県中小企業診断協会理事、令和4年～埼玉県農業経営・就農支援センター(埼玉県農業経営相談所)専門家登録、令和5年～(特非)地域活性化センター代表理事、令和5年12月～農業委員	従事年数	-	非該当							現在、農業委員(中立委員)としての立場からの発言や研修企画等を実施してきました。現在におきましても、GAPをはじめとした農業特有の施策の活用等に関する取組を進めている。今後は、行政の支援施策の認知等による活用率向上によって差を埋め、農業者の業績向上を目指し、農業としての維持発展、遊休農地の解消に向け、取り組んでいく所存です。まだまだやるべきことが多く残っているため、継続して農業委員を務めたく応募します。	無
						主な作付作物	-										
						耕作農地面積	-										
3	個人推薦	加藤富夫	農業	69	男	高校卒業後、昭和50年～農業従事開始、平成27年～令和5年改良区総代、令和5年12月～春日部市農業委員、令和7年～農水里環境組合役員	従事年数	51年	非該当	石塚光夫	70					地域において「多面的機能支払い交付金事業」である農水里環境組合の役員としてその活動に積極的に参加している。土地改良区総代就任の際は、地域の田畑の様子や農業経営の実態の把握に努め、地域の方に適切な助言をしていた。農業委員として、農業者との会話を意識的に行い、情報収集に務め、農業者が抱えている悩みや課題の解決に尽力していた。さらに土地改良区の役員と連携して農業環境保全に取り組んだり「地域計画」づくりを推進した。	無
					主な作付作物	水稻 野菜		金子正己		75							
					耕作農地面積	70アール		岩井庄治		70							

農業委員会委員の応募者の情報 ※経歴や応募・推薦理由は、提出書類（推薦書・申込書）を要約して掲載しています。

令和8年7月31日 時点

番号	推薦・応募の別	候補者							推薦者							農地利用最適化推進委員への応募の有無	
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者の該当・非該当	個人の場合		団体の場合					応募・推薦理由
										推薦者名	年齢	代表者氏名	構成員数	構成員たる資格	事業内容		
4	個人推薦	森 義晃	農業	72	男	高校卒業後、株式会社に勤務、平成29年～農業従事開始、令和2年～庄和うまい米づくり友の会監事、令和7年～認定農業者	従事年数	10年	該当	石井 茂	79					令和7年に認定農業者の取得をしており、これまで培ってきた経験と技術をさらに高めながら、持続可能な農業経験を目指して精力的に活動している。地域行事や農業者間の連携にも積極的に関わる姿勢は、地域コミュニティの維持・発展に欠かせない存在として高く評価されている。これまでの豊富な経験と深い地域理解を活かし、耕作放棄地の発生防止や農地の有効活用、さらには春日部市の農業振興に大きく貢献できる人材であると確信している。	無
							主な作付作物	米		石原幹夫	64						
							耕作農地面積	900アール		森 正実	57						
5	自薦応募	中村勝利	農業	67	男	昭和62年4月～埼玉県職員として勤務、令和7年4月～自治会会長、令和6年11月～土地改良区総代、令和7年4月～農地利用最適化推進委員	従事年数	46年	非該当							市内武里地区で40年以上農業に従事し、令和7年から薄谷地区自治会の会長として地域活動にも参加してきました。これからの農業は、農業従事者の減少から農地の集約と大規模化や、AIやロボットの活用等、生産性を向上させることが必要です。今までの農業経験を活かし、地域農業の発展に貢献していきたいと考え応募しました。	有
							主な作付作物	水稻 野菜 果樹									
							耕作農地面積	97アール									
6	団体推薦	佐藤隆英	会社役員	46	男	令和8年1月株式会社の取締役就任	従事年数	0.5年	該当			株式会社地球農業Lab上原実	8人	当法人の役員及び社員	地域農業の担い手として、持続可能な農業を実践する	今年2月まで地元企業に勤務し、組織運営や業務効率化に取り組んでいました。その傍ら、10年間にわたり株式会社にて農作業や経営運営に関わり、本年2月には同社の役員に就任いたしました。異業種で培った組織管理能力と、地域農業の担い手として得た知見を活かし、春日部市の農地利用の最適化を進めてくれると確信しており、推薦します。	無
							主な作付作物	水稻 いちご ねぎ									
							耕作農地面積	2,623アール									

農業委員会委員の応募者の情報 ※経歴や応募・推薦理由は、提出書類（推薦書・申込書）を要約して掲載しています。

令和8年7月31日 時点

番号	推薦・応募の別	候補者							推薦者							農地利用 最適化推 進委員への応募の有無		
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者 の該当・非 該当	個人の場合		団体の場合					応募・推薦理由	
										推薦者名	年齢	代表者氏 名	構成員数	構成員た る資格	事業内容			
7	自薦応募	池上 茂	農業	71	男	高校卒業後、平成27年4月～農業従事開始、令和2年6月～令和5年5月農協非常勤理事、令和5年12月～農業委員	従事年数	11年	該当								11年間農業経営に従事し、近隣の農家から高齢、後継者がいない等の為、農地を耕作してほしいと相談をされ規模拡大をしてきました。近年の農業を取り巻く環境の変化、農業者の高齢化及び後継者問題等、多くの問題を抱えています。今後もやりがいのある農業を目指していきたいと思い応募いたします。	無
							主な 作付作物	水稻										
							耕作農地 面積	500 アール										
8	団体推薦	伊藤弘子	農業	64	女	高校卒業後、平成13年～埼玉県農村女性アドバイザー、平成26年土と生きる庄和の女性トマトクラブ会長、平成16年～平成25年民生児童委員主任児童委員、平成26年春日部市農業団体連合会役員、平成27年農業振興審議会委員、平成29年～農業委員及び土地開発公社理事	従事年数	46年	該当			土と生きる庄和の女性トマトクラブ倉持ふさ子	9人	春日部市庄和地域に在住する女性農業者をもって構成	農業技術の研鑽と交流で、豊かな経営と親睦を図る活動	土と生きる庄和の女性トマトクラブでは明るく積極的に会長を務めた経験、農業委員9年間継続実績もあり、農業に対しての深い見識、女性から見た問題を解決策を提起き出来ると思います。昨年から地域貢献の1つとして、市役所内での農産物の販売を通して農業への理解を深めようと活動しています。引き続き農業委員を推薦します。	無	
							主な 作付作物	施設野菜 露地野菜										
							耕作農地 面積	68 アール										
							耕作農地 面積	141.7 アール										
9	団体推薦	齋藤 栄	農業 自営	74	男	高校卒業、昭和46年4月農業従事開始、平成2年～平成18年有限会社設立代表取締役、平成25年1月土地改良区総代選任、令和7年4月土地改良区理事選任	従事年数	55年	非該当			見沼代用水土地改良区理事長坪井茂	18,251人	土地改良区の地区内にある農用地について、所有権または耕作権等を有する者	土地改良法に基づき、農業生産の基盤を維持し、地域の農業と環境を守る	土地改良法の運営をはじめ、農業用水施設の維持管理や地域農業の振興に積極的に携わっています。また、自ら有限会社を設立・運営するなど幅広い視野と優れた経営感覚を培ってこられました。こうした経験を通た豊富な知識と経験に加え、事業経営者として、公平・公正な判断力と高い責任感を兼ね備えています。地域農業の振興と適正な農地行政の推進に大きく貢献できる人物であると認め推薦します。	有	
							主な 作付作物	水稻										
							耕作農地 面積	141.7 アール										
							耕作農地 面積	141.7 アール										

農業委員会委員の応募者の情報 ※経歴や応募・推薦理由は、提出書類（推薦書・申込書）を要約して掲載しています。

令和8年7月31日 時点

番号	推薦・応募の別	候補者							推薦者							農地利用 最適化推 進委員へ の応募の 有無	
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者 の該当・非 該当	個人の場合		団体の場合					応募・推薦理由
										推薦者名	年齢	代表者氏 名	構成員数	構成員た る資格	事業内容		
10	自薦応募	山田智之	司法書士	42	男	大学卒業後、令和6年7月司法書士事務所開業、令和7年8月春日部市空家等対策協議会委員委嘱	従事年数	-	非該当							幼少のころより農作業に関わる中で、農業の大変さや大切さ、農地を維持する苦労も実感しました。経験を活かし、農業に携わる方々の思いや現場の実情を踏まえ、地域全体にとってよりよい農業のあり方を考えていきたいと思っております。また、司法書士としての業務を通じて、これまでの実務経験を活かし、農業と法務の両面から地域に貢献していきたいと考えております。春日部市の農業がこれからも地域に根ざした形で続いていくよう、少しでも力になりたいと考え、応募します。	無
						主な作付作物	-										
						耕作農地面積	-										
11	自薦応募	吉野将則	会社経営	41	男	大学卒業後会社勤務、平成22年5月～製菓会社勤務、令和5年4月～同会社代表就任	従事年数	-	非該当							農業について専門的な知識や経験は多く有りませんが、市内で事業を営む者として地域農業の重要性を強く感じております。近年、地域農業が抱える課題を目にする中で、地域の発展に少しでも貢献したいと思い応募いたしました。地元で食品製造業を営む立場として、地域で生産された農産物や農業の発展は地域経済全体に関わる重要な課題であると考え、経営者として培った行動や調整力を活かし、農業者の皆様と行政をつなぐ役割を誠実に果たしてまいりたいと考えております。	無
						主な作付作物	-										
						耕作農地面積	-										
12	自薦応募	水口健二	無職	76	男	高校卒業後、平成11年自治会長、平成27年株式会社退職、平成29年～農業委員	従事年数	-	非該当							農業委員を3期9年を経験した事により現在の日本農業が多くの問題を抱え前途多難である現実を実感、微力ながら「人農地プラン」を旗印に遊休農地の解消、新規就農者の育成、農地の集積集約化に努力して行きたいと思い、中立委員として応募いたします。	無
						主な作付作物	-										
						耕作農地面積	-										

農業委員会委員の応募者の情報 ※経歴や応募・推薦理由は、提出書類（推薦書・申込書）を要約して掲載しています。

令和8年7月31日 時点

番号	推薦・応募の別	候補者							推薦者							農地利用最適化推進委員への応募の有無	
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者の該当・非該当	個人の場合		団体の場合					応募・推薦理由
										推薦者名	年齢	代表者氏名	構成員数	構成員たる資格	事業内容		
13	自薦応募	山崎勇喜	農業	77	男	大学卒業、平成23年12月～農業委員、平成25年～自治会会長及び自治会連合会理事、平成29年6月～都市計画審議委員及び都市再生協議会委員、令和2年4月～武里自治会連合会副会長、令和7年7月～社会福祉協議会評議員、令和8年2月農業振興審議会委員	従事年数	54年	非該当							地元の自治会長として活動しています。農業関係では、中間管理機構の制度を利用して地権者と受け手との話し合いを設け、遊休農地にならないように農地集積や集約をし農地法の適応や行政とのやり取りを実施しました。耕作状況、現地確認、農地情報を知り圃場の見守り活動しています。問題が発生した場合は話し合いの場をつくり解決しています。更に会合、研修会に参加し農地を守る勉強をしたいと思います。	無
14	個人推薦	市川大倫	農業	80	男	大学卒業、平成17年3月千葉県庁退職、平成17年4月～平成24年3月株式会社勤務、平成23年4月～自治会会長、平成26年8月～樋籠地区地域資源保全会発足（現在副代表）平成29年4月～農業用施設管組合組合長、平成29年12月～農業委員、令和3年4月～土地改良区理事	従事年数	36年	該当	松本敏幸	76					自治会の長として、新旧住民の融和を図る一方、農事組合にかかわり農事に関する話し合いの場として定着させている。多面的機能支払い制度の導入では、農事組合を動員し、樋籠地区地域資源保存会として発足させ、活動を展開している。農業用施設管理組合長に就任し、組合活動を活発化させ、賦課金による持続可能な組合運営を行っている。地域計画の推進に努め、「幸松地域耕作者協議会」を令和8年3月24日に設立し、活動に取り組んでいる。以上のことから適任者として推薦するものです。	無
15	個人推薦	岡本 勉	農業	72	男	高校卒業後、昭和49年4月農業従事開始、平成10年4月～平成12年3月農家組合長、平成31年4月～農家組合長、令和2年12月～農業委員会委員	従事年数	52年	非該当	鈴木光雄	69					長年にわたり専業農家として地域農業の発展や農地の保全に取り組まれ、農業全般に多くの知見を有している。農業に関する見識は十分有し、地域農業情報にも精通している。また、担い手への集約化、耕作放棄地の解消など、農地利用の最適化にも関心が高く、地域からの人望もある。地域の活動にも積極的に参加してきている。以上のことから農業委員候補として適任と考え推薦します。	無
							主な作付作物	水稻		山崎正明	69						
							耕作農地面積	310アール		横井三夫	72						